

太田ジオリサーチは 「斜面・地盤のエンジニア」です

地盤が崩壊する原因を明らかにするには、**地盤の形成過程**(土地の成り立ち)を明らかにすることが非常に重要です。この過程を調査するには、**地球科学**(自然作用)や先人の**地盤工事技術**(人為的作用)などの専門知識が必要になります。

当社は、これらの知識を持つ**地盤のコンサルタント**です。ご相談案件の宅地や斜面等の**地盤調査・リスク評価**を行い、必要に応じて**地盤補強工法の提案**を行っております。

 OHTA GEO
RESEARCH
計測も設計も解析も、3次元で

会 社 名	有限会社太田ジオリサーチ
所 在 地	〒651-1312 兵庫県神戸市北区有野町有野492番地の1 TEL 078-959-5172 MAIL office@ohta-geo.co.jp
業 務 内 容	建設コンサルタント(地質／土質／砂防)・測量・地質調査



<https://ohta-geo.co.jp/>

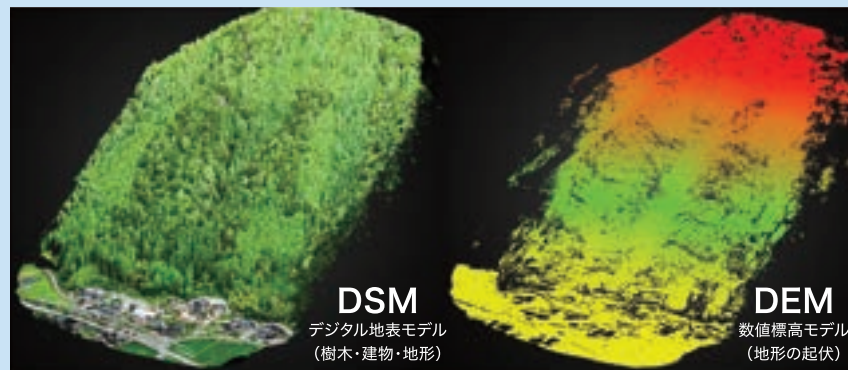


どう使う？ 3次元点群データ

有限会社太田ジオリサーチは、ドローンによるレーザ測量や空中写真測量により3次元で地形を測量します。また、測量で得た3次元点群データを使用した設計や解析も実施しております。

01 UAV測量サービス 山岳地も空から丸ごとLiDARスキャン！

山岳地は斜面や樹木等が障害物となり見通しが悪く、さらにGPSの感度も悪いことが多いためUAV(ドローン)を飛行させるのは難しいものです。有限会社太田ジオリサーチは、**一級無人航空機操縦士の資格を持つ操縦士による山岳地でのUAVを使った測量**を得意としています。従来の地形測量では考えられなかった**圧倒的な密度(点/数cm²～数10cm²)**での計測が可能です。



DSM
デジタル地表モデル
(樹木・建物・地形)

DEM
数値標高モデル
(地形の起伏)

LiDAR
とは？

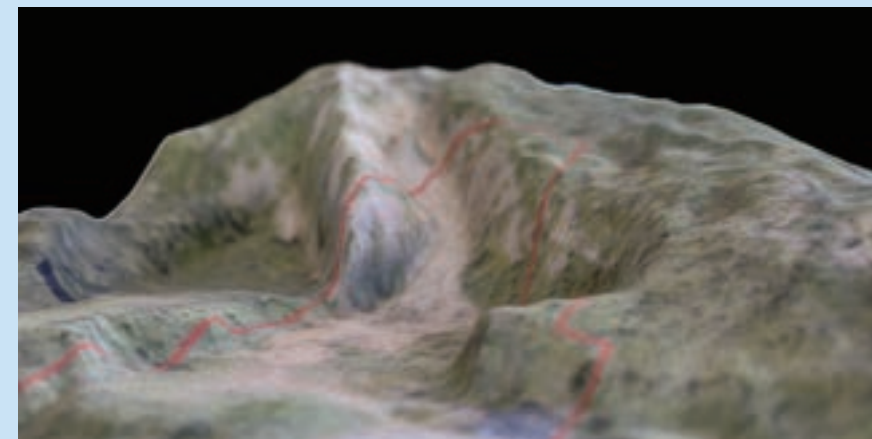
LiDARは「Light Detection And Ranging」の略で、**レーザ光を照射し、その反射光から対象物までの距離や形状を測定する技術**です。自動運転や測量、AR(拡張現実)などさまざまな分野で活用されています。

担当者の声

「しんどい…」
ふと、こぼれる一言。
山地での測量、それはとても過酷な作業だった。それがどうだ。今ではドローンを使って空から地形をスキャンできる。
レーザ測量によって「木」も「建物」も、そして樹木が茂って見えにくい「地表」までも全部ひっくりめて、現場を丸ごとデジタル化。
さようなら、過酷な日々。

02 3D模型出力サービス CGから模型に。分かる、知るをより深く。

有限会社太田ジオリサーチでは、測量で得た**3次元点群データを使用した3Dフルカラー地形模型出力サービス**を行っています。3Dフルカラー地形模型は図面やCGとは異なる説得力を持っています。視点を変えて、手に触れることで「なるほど」や「わかる」を深めます。

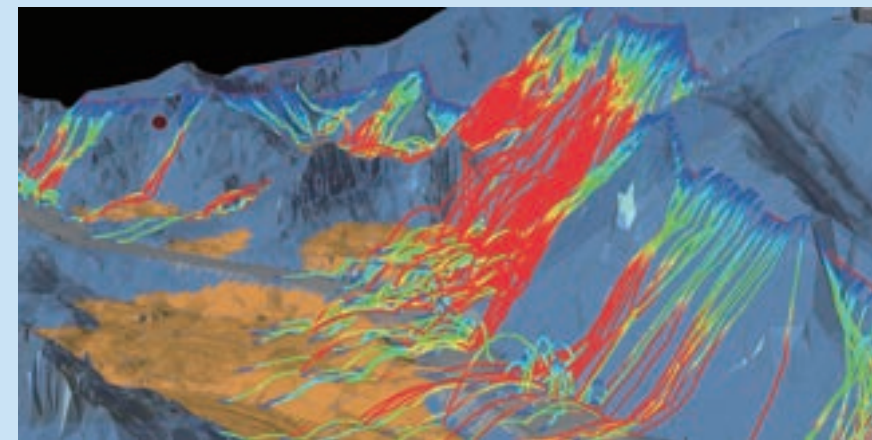


担当者の声

「CGで十分だ」と思っているあなたにすすめたい。
見て、触れることのできる模型。模型の良さは、モノが中心にあるということ。
上から、下から、斜めから。角度をかえて。
「自分中心」ではなく「モノ中心」で、自分の見方を変える。
あ、なるほど。「分かる」「知る」をより深く。

03 3次元点群データを使った設計／解析サービス 脱2次元！3次元データは3次元のまま使え！

取得した詳細な3次元データを2次元に単純化し、従来通りの手法により設計や解析するのではなく、**3次元のまま設計／解析**することで(3次元法面設計、3次元地質解析、3次元落石シミュレーション、3次元安定解析など)、より**現実に近い「リアル」な検討**を行うことができます。



担当者の声

3次元点群から断面図や横断面図、平面図が簡単に作れます！
って3次元データを2次元にできることを喜んでいる場合じゃない。3次元データがあるのに、展開図による数量計算、2次元解析？これじゃ昭和と変わらない。時代は令和。
せっかく取得した詳細な3次元点群データを「3次元のまま使って設計／解析する」ことで、より「リアル」な検討ができる。これが3次元データの正しい使い方！

3D POINT CLOUD DATA